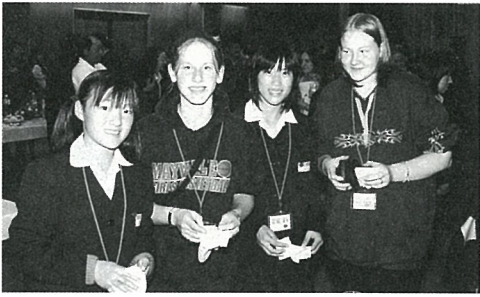




## メイビル中訪問団来町

光中学校の姉妹校であるアメリカ・メイビル中学校から、10月22日(水)から28日(火)までの7日間、教諭4名と生徒13名の訪問団が来町しました。

訪問団は今回で2回目の来町で、到着した22日には訪問団を歓迎するウエルカムパーティーが町民会館で行われ、その後、中学校の先生や生徒の自宅にホームステイしながら、中学校での交流活動と千葉・成田方面バスツアー、小学校訪問を行いました。  
最終日には、中学校でサヨナラ全校集会に参加後、一行は東京へと向かい、都内や富士山・箱根方面を観光して11月1日(土)に帰国しました。

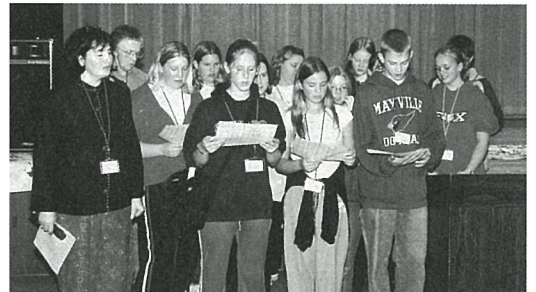


## ホームステイを 受け入れて

齋藤 絹代(橋場)

「ただいま」と娘がアメリカのホームステイから帰って来て、楽しかった余韻がまだ残っているうちに今度はホームステイの受け入れです。会ったら何て話そうか、辞書を片手に不安ながらも楽しみにしていました。

しかし、いざ会うとあまりにも綺麗で言葉が出ず、思わず笑ってごまかしてしまいました。娘は顔見知りのせいかすぐに打ち解けて、ウエルカムパーティーの帰りに楽しそうにプリクラを撮っていました。それからの6日間は、とにかく体力勝負。私に出来る事は、まず食事。和食か洋食か悩んだ末、初めは無難に洋食から。仲間と100円ショップで揃えたランチマット、ナプキンなどを並べて、娘がアメリカでご馳走になったメニューを参考に日本風にアレンジして出してみました。それを見た娘の反応は、普段見慣れない光景に目を丸くしていました。そして、朝のあいさつはグットモーニング！言った自分もおかしくて笑ってしまいました。夜には、お赤飯や天ぷらなど日本食を出してみました。やっぱりシチューの方が好んで食べていました。それからはあまり気を使わず食べれそうな物にして、時には他の受け入れ家族とボウリングやデイズニールランドなどに行ったりし、お互いに会話が出来る楽しめるようになりました。



## メイビルミドル スクールとの 交流を通して

光中学校教諭 小山 克己

ホームステイも後半になると、お互いに慣れてきたせいか、いろいろ会話したり、ゆかたを着せてあげると喜んで写真を撮ったり、最後の夜に家で他の受け入れ家族と一緒に別れ会をした時には、覚えた日本語で私達を楽しませてくれました。 外見も生活習慣も、そして言葉も違うけれど子供はみんな同じで、たった6日間でしたが自分の娘のような気がしてとても可愛かったです。出来る事なら、もう一度会いたいです。このような経験が出来た事を家族一同、本当に感謝しておりました。ありがとうございます。

「最高の持て成しで、私たちを迎えて頂いた光町の方々に厚く御礼を申し上げます。早いもので、帰国して間もなく一ヶ月が経とうとしていますが、皆さんと楽しく過ごしたことがまるでも鮮明に思い出すことができます。生徒と共に得た貴重な経験は一生忘れません。光中学校とメイビルミドルスクールとの間に築かれた友情は永遠に続くものと信じています。」先日、帰国したメイビルミドルスクールのテリー校長先生からお礼の手紙を頂きました。 過日、光中学校とメイビルミドルスクールとの間で行われた平成15年度交換留学プログラム(メイビルミドルスクール光中学校訪問)は皆様方のご協力を得て無事終了することができました。そこには、かけがえのない大きな友情という名の素晴らしい橋を築くことができました。



さて、この国際交流の取り組みも今年で13年目を迎えました。平成2年に千葉県はウイスコンシン州と姉妹州の提携に始まり、平成3年及び5年の教員派遣。そして平成6年から現在に至るまでの本格的な派遣(教員1名、2年生の生徒4名)。また平成7年には本格的交流開始の確認のために本校並びに教育委員会へメイビルより教員1名が来校し、平成12年には第1回のメイビルミドルスクール訪問団が来校という経緯があります。 本校の国際理解教育の目